



総合的な学習の時間に、図書ボランティアの方を講師としてお招きし、キャリア教育を行いました。地元長崎（外海）の伝統文化や生活を支えている方との出会いを通して、子どもたちがふるさとを愛する心や自分らしい生き方を考える機会となることが目的です。講師の方のこれまでの生き方や今後のことなどを聞くことができました。お話の中で、出版されている絵本の読み聞かせもしていただきました。「読んだことある！」という子どもたちの声も聞かれました。講師の方の生き方や紹介された言葉に共感する子ども、ふるさとの良さに改めて気づいた子ども、お話の中から新たな発見を見出した子どもなど、それぞれが感想をもつことができました。1時間があったという間で、とても有意義な時間となりました。



そとめっ子発表会では、「綿づくり」の学習で使用した道具や機械の使い方の紹介と、「大学へ行こう！」の学習で学んだ内容を発表しました。使用したスライド、原稿や発表の構成は子供たち主体で進めました。聞く人によく伝わるように工夫をし、練習を重ねてきました。

また、合奏も2曲にチャレンジしました。

「一人一人が主役のそとめっ子発表会にしよう」とめあてを立て、迎えた本番でしたが、緊張した面持ちながらも、多くの方を前にし、自分の役割を堂々と果たす姿は、とても立派でした。